給（仕事の無い日に手当を與へよ）の必要は勿論、それ以上の施設が無くて善いのでありませうか。

さなきだに人心頽りに変を想ひ、自然に休つてか、人意を以てか、現狀打破が叫ばれて物々しかつた最近の帝都であるのに、今や這の不意の災厄の急めに、人心更に乱み果て、謂ゆる一寸先は闇の世たるを痛感し、荒寥たる街路を来往する人々が如何なる事柄を口にしつつあるかを、閣下及び諸公は知らるるや否や。社会主義者中の過激妄動分子は憎むべく排すべく、生等は皇室中心の国家社会主義を標榜して、彼等と永久戦つて来たものであります。が、今や不逞彼等も既に僧伏し去り、民衆騒動の憂はありませぬ、而も民衆は自己の體験より、自然の感情を吐露するのであります。彼等は言ふ、復興だ復興だ

で働かされて、復興した東京は矢張り金持の東京ぢゃないか、馬鹿々々しいと。曰く何ぞ曰く何。生等は現に自戒する事の慰撫理解に勗めて居りますが、彼等は現に自戒する事実に對する、在来の虐げられた體験、その生活経験の推理から、寧ろ生等を偽善視するの傾向があります。

されば こそ 畏多くも至上陛下は、震災後直ちにその深く憂慮し給ふ 皇室の、実にこの 人心の動揺 に在る事を宜給ふたのでありまして、生等は陛下が 寢食安からず とまで仰せられたのに對し奉り、真に恐懼措く能はず、昧死猶ほ足らずとするものであります。

然るに救護当局は今や、罹災者に對する例の足らぬ勝ちなる配給も、打切りを断行すべく発表されたのであります。真の窮乏者、労働不能者に配給すべし、などの條